

Q：次期町長に託す課題は

A：人口減少をうれう

Q：変化する青少年の問題行動への対応は

A：知・徳・体の調和ある「生き抜く力」が重要



青田 良一議員

次期町長に託す課題は

**質問** 植田町長は町政進展のため困難な課題解決に努力された事実は衆人が認めることろであろう。しかし、財政事情により先送りせざるを得ない事項もあったことと思う。ついでに、次期町長へ託したい課題と印象に残る施策を伺う。

**町長** 2期8年間、大過なく職責を全うできることは、町民各位や議員各位のご理解とご協力の賜と、衷心からお礼と感謝を申し上げます。

さて、行政は、常に課題を抱えながらも停滞なく前進することが期待されている。いま、地方自治体を取り巻く社会環境は、地方分権と地域主

権の進展、少子高齢化・人口減少の進行、安全安心志向の高まり、高度情報化など、以前に増した対応が求められている。中でも、人口減少は、本町の経済やまちづくりの将来設計に大きな影響を及ぼすものであり、喫緊の課題として、重点的な取り組みが必要である。今後、各自治体では「地方人口ビジョン」と「地方版総合戦略」の策定が進められるが、本町においても、新しい町長のもと、総合戦略が策定され、人口減少を克服し将来にわたって活力ある地域社会が実現するものと確信する。

多様な行政課題があったが特に印象深いものとして、「まちづくり基本条例」の制定がある。多くの町民に参加を願っている協議の上、完成させることができた。これは、本町の自治を推進する根幹となるべきものであり、次期町長によりしっかりと定着するよう願っている。

さらに、町民の願いであった「徳富ダム」が任期中に完成を見た。農業用水利の安定確保、おいしい飲用水の安定供給が可能となり、本町の農

業や安全安心な住民生活基盤が整備された。  
また、開基120年の節目の年に開催した記念行事を多数の町民参加をえて盛会裡に終えることができた。記念式典には、北海道の副知事並びに母県奈良県の副知事にも参列賜り厳粛な中で挙行できたことも印象深い出来事であった。

本町の益々の隆盛と町民各位のご健勝、ご多幸を心からお祈りする。

変化する青少年の問題行動への対応は

**質問** 川崎市において、13歳の少年が刺殺されるとい痛ましい事件があった。ここに至る間、少年から危険を知らせるサインを見逃したこと批判する論評も少なくない。変化の激しい青少年の問題行動への対応を伺う。

**教育長** 今回の痛ましい事件を氷山の一角とすることのないよう、関係者とともに重く受け止める。

子供たちに「命の大切さ」「生きる」との素晴らしさを

を理解させ、加えて「礼節」や「互いを尊重し相手を思いやる優しさや我慢強さ」を身に着ける心の教育を推進してきた。このことは、子供自身も自ら考え、感じ取ってもらうことが肝要であり、学校の特設道徳授業をはじめ、部活動や各種少年団活動なども重要視しつつ取り組んできた。

また、心の教育は、地域社会での体験的活動や交流によっても育まれる。

地域コミュニティが弱体化しつつあると言われる中、全町民参加のあいさつ運動展開による地域社会の教育力や連帯意識、相互扶助の醸成に努めたい。

これまでの施策に甘んじることなく、教職員や関係団体との連携強化に配慮し、児童生徒の健全な成長に全力を傾注する。